

図書館サポーターが薦める「この一冊」

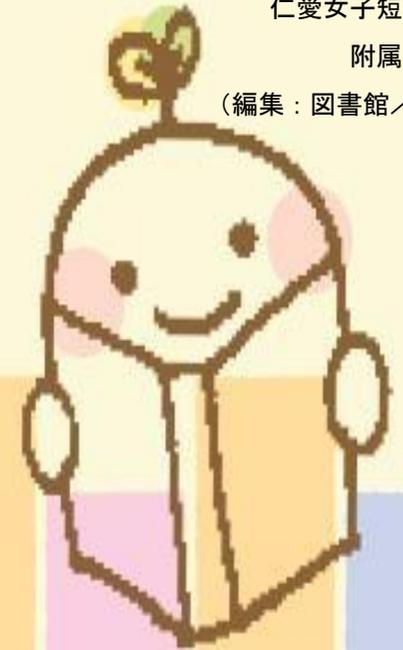
第2号 2012.10発行

仁愛女子短期大学

附属図書館

(編集：図書館／加藤)

館内にて、サポーター
企画第1弾『**〇〇の秋**
特集』を実施中。
色々な「秋」の本を
展示しています！

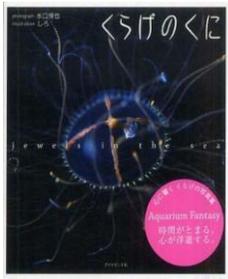


図書館サポーターが薦める「この一冊」！ 第2弾

第1号に引き続き、今回は3名の
サポーターオススメの本をご紹介！

杓谷 采音さん（幼教1回生）

『くらげのくに
—jewels in the sea』
(水口博也(写真・文)、しろ(イラスト)、
ダイヤモンド社、2009)



000113913
748-MI

“くらげには心臓も脳もない”

この本は、そんなくらげのもつ、不思議な美しさや心を惹きつける魅力を一冊にまとめた本です。色々なくらげの本がありますが、こんなにくらげのそれぞれの魅力を収めたものに出会ったのは初めてです。



本田 奈保さん（幼教1回生）

『浮き草デイズ（第1巻）』
(たかぎなおこ, 文藝春秋, 2008)



200015348
726.1-TA-1

一人暮らしをしてみたいなあと思ったことはありますか？または、目指している目標や夢はありますか？

『浮き草デイズ』は、著者のたかぎなおこさんが、三重県から上京してイラストレーターの夢を叶えようと奮闘する日々を描いたコミックエッセイです。お金がないながらも一人暮らしを気ままに送る日々はたくさん笑えてちょっぴり泣けます。そしてとっても癒されます♪

今、夢を持っている人にとっては勇気がわいてくる一冊になっていますよ！とってもオススメです！！

松浦 紀恵さん（幼教2回生）

『日本人が世界に
誇れる33のこと』
(ルース・ジャーマン・白石,
あさ出版, 2012)



000113842
361.42-SI

あなたは日本人が世界に誇れる身近なモノってわかりますか？

たとえば、「公私混同」という言葉。外国人からすれば「公」と「私」の区別はしがたいもの、そもそもそんな基準まで考えないそうです。最近では日本人についてネガティブな話題も多いですが、この本は徹底的に日本人というものをポジティブに捉えています。しかし、日本人からすればツッコミたくなる箇所もあるかも…。

日本人はどう見られているのか。ぜひ読んで確認してみてください。